

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第3回登米市立地適正化計画推進協議会
開 催 日 時	令和2年12月25日(金) 午後2時開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	登米市消防防災センター 3階 大会議室
議長(会長)の氏名	(大)宮城大学 教授 徳永幸之
出席者(委員)の氏名	(大)宮城大学 教授 徳永幸之【会長】 (公社)とめ青年会議所 理事長 千葉隼人【副会長】 (特非)とめタウンネット とめ女性支援センター センター長 足立千佳子 登米中央商工会 会長 阿部泰彦 みやぎ登米農業協同組合 代表理事専務 佐々木修 (福)登米市社会福祉協議会 総務課長 渥美圭志 市長が必要と認める者 村田真夕子  以上7名
欠席者(委員)の氏名	(株)ミヤコーバス 石巻・登米地区支配人 執行役員 山崎強 宮城県土木部都市計画課 課長 大宮敦 市長が必要と認める者 亀卦川祐里  以上3名
事務局職員職氏名	建設部 部長 千葉清 建設部 次長 菅原和夫 建設部住宅都市整備課 課長 千葉伸一 建設部住宅都市整備課 都市政策専門監 三浦訓徳 建設部住宅都市整備課 課長補佐 小橋一仁 建設部住宅都市整備課 都市整備係長 沼倉貴宏 建設部住宅都市整備課 技術主査 藤原健司 建設部住宅都市整備課 主事 佐藤亜耶 総務部 次長兼政策推進監 小野寺憲司
議 題	(1) 誘導区域の検討(素案)について (2) アンケート調査報告書について
会 議 結 果	会議経過のとおり

会議経過	別添のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・誘導区域の検討（素案）について【資料1】</li> <li>・アンケート調査報告書について【資料2】</li> <li>・【資料1】の追加説明用 <span style="border: 1px solid black;">当日配布資料</span></li> </ul>
発言者	発言
事務局	<p>【開会】</p> <p>協議会の冒頭、配布資料及び出席委員の人数が定足数に達していることを確認する。</p>
副市長	<p>【副市長から挨拶】</p>
会長	<p>【会長から挨拶】</p> <p>※会長挨拶後、副市長については別件公務のため退席</p>
事務局	<p>本日の会議の公開・非公開について、傍聴者5人を限度に公開する報告とコロナウイルス感染症対策のため、概ね1時間を目安とする会議進行の協力をお願いします。</p> <p>議事については、登米市立地適正化計画推進協議会規則に基づき会長が議長となり進行する。</p>
議長（会長）	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>「(1) 誘導区域（素案）の検討について」と「(2) アンケート調査報告書について」関連がありますので、一括して議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局説明 ※資料1及び資料2】</p>
議長（会長）	<p>説明が終わりました。</p> <p>委員の皆様から事務局に確認しておきたいことがあれば、お受けしますので、挙手の上、ご発言願います。</p>

事務局	<p>欠席の大宮委員からの意見を報告する。『本協議会の資料において登米都市計画区域の用途地域内に居住誘導区域を設定するものとお見受けする。今回、居住区域の案が具体的に示されましたが用途地域の指定の経緯や現状の土地利用状況、浸水想定区域等の災害リスクの視点についても今後検討されたほうが良いと思います。』</p>
議長（会長）	<p>文章だけだと真意が伝わりにくいが、事務局で補足の確認は行っているか。</p>
事務局	<p>用途地域指定の経緯について今後検討する。今回の居住誘導区域については現状の土地利用として土地区画整理事業、地区計画なども加味している。浸水想定区域などの防災面での検討も進める。</p>
議長（会長）	<p>準工業地域を居住誘導区域とすべきか整理が必要ではないか。また、用途地域は道路の両側を沿道で指定しているところがあるが居住誘導区域は道路で区切っている。考え方の整理をしておくべき。</p>
委員	<p>鉄道駅や高速道路 IC は図面に乗せるべき。特にみやぎ県北高速幹線道路の開通が経済にも影響するので表示が必要。</p> <p>14 ページの大東地区の実際の浸水範囲はもっと広い。神社のあたりまで浸水している。</p> <p>アンケートの円グラフは下に凡例を入れているが直接項目を入れたほうが見やすい。</p>
事務局	<p>1 ページ右上に都市マスの将来構想図を入れている。この図のように評価図にも駅や IC を入れられるようにする。14 ページの浸水被害エリアは H14. 7 月に最大 70cm のエリアが約 9.9ha の範囲となったことは把握しているが、今回の資料は R1. 10 月の東日本台風の際のものとして表示している。道路冠水の交通規制が発生している範囲も確認して対策を検討する。</p>
委員	<p>都市計画マスタープランはまちづくりや産業振興と繋がっている。人口減少の中、環境整備が若者の定住に必要なので都市機能増進施設にスポーツ施設（運動場、野球場等）を加えたらどうか。計画したことが実践できるまちづくりをするために、総合的に他計画と連携させながら検討した方がよい。</p>

事務局	<p>まちづくりの全体計画を示す市の最上位計画が総合計画になる。各部門においてどのような施策を講じるものかという役割があり、相関関係がある。そのうちの土地利用をどうするかというのが都市計画マスタープランです。</p>
委員	<p>病院や庁舎の考え方も総合的に関連してやっていかないと。市街地の一市八日町大通りは商業地域となっているが店舗が少なくなり、空き家は売却され人が住むようになると思う。</p>
事務局	<p>都市計画マスタープランのなかで中心拠点と地域拠点を位置付けている。地域拠点においても町の機能を維持するために必要な拠点としている。そのなかでまずは中心拠点が衰退することが登米市にとって大きな問題となるので迫を中心とした中心拠点をどのように維持するかということを検討した。都市機能としてどのような施設が必要かアンケートでも意見としては病院が多かった。</p>
議長（会長）	<p>立地適正化計画で目指すまちづくりの方針はコンパクト・プラス・ネットワークと書いてあるが、誘導区域はコンパクトだけをあぶり出している感じがする。ネットワークはどうか、地域拠点はどうか。これだけでは登米市全体のまちづくりが見えない。表現方法や都市計画マスタープランとの関係、総合計画との関係を整理して誤解のないように表明していくべき。</p>
委員	<p>旧町域ごとの反発が多い。関連させて総合的にやっていく必要がある。</p>
議長（会長）	<p>しっかり説明しないと誤解されてしまう。総合評価では旧町の拠点も出てきているが点数でみると佐沼しか残らない。国が求める立地適正化の範囲は迫中心にならざるを得ない。ただ、登米市としては地域拠点をどうするのか、誘導区域にはならないが生活利便性を高めるという考え方を示すべき。これは都市計画マスタープランで示すものかもしれないが。</p>
委員	<p>この委員会では立地適正化計画なので佐沼を中心にとすることは理解した。登米市では前提条件が違うので地域拠点については他の計画や部署で検討しているということが分かれば理解できると思う。アンケート</p>

	<p>での意見がこうだったからこうするというのは逃げに思う。登米市の中心拠点はどうするんだという市の姿勢、気概を見せてほしい。</p>
事務局	<p>地域拠点についてどういう見せ方をするのか、各地域を活かすためにも中心拠点の整備が必要だということが伝わるように工夫する。</p>
委員	<p>ほかの地域から見ると佐沼だけとなっている。中心を作ってそれから地域の活性化としない。</p>
議長（会長）	<p>地域間、市外との交通アクセスは高速バスが担っている。となると IC も拠点と捉えることができる。</p> <p>行政施設、子育て施設、文化教育施設などは具体には何かわかるといい。いまは施設の規模によらず同じ評価としているが、施設規模により点数を分けることは可能か。</p>
事務局	<p>点数の重みづけはアンケートによる結果を参考に再検討する。</p>
委員	<p>施設の分布図について、高齢者、子育てはあるが障害者についても考慮してもらいたい。</p> <p>議会での中心拠点の再編について教えてほしい。</p>
事務局	<p>去る 8 月 25 日、議会へ中心拠点再編について説明した。病院の再編、図書館、体育館、公民館、分庁舎になっている本庁機能などについて示した。まだ執行部内でもんだ内容で市民の方にはまだ示していない内容になっている。施設をどうするかは立地適正化計画と合わせて再編を考えていく。市民の方に情報を提供して意見をいただきながら進めていく。次回に資料を基にその内容を説明したい。</p>
委員	<p>立地適正化計画は総合的に捉えないと大変だと思う。合併前でも迫町はヘソ（中心）がないと言われていた。合併して広域的に産業振興を活性化していく。福祉ゾーンをつくるとか課題はいっぱいある。市長が地域の産業振興をすればいいが。将来を見据えた計画としてほしい。</p>
議長（会長）	<p>誘導区域案について 4 パターン出ているがこれについて意見はないか。</p>

事務局	<p>補足説明する。案1はほぼ用途地域を包括した区域としている。現在の人口密度は28人/ha程度。案2はエリアを絞り込んでいて現在の人口密度は32人/ha程度。居住誘導区域を指定するうえでの平均的な人口密度があり、それが30人/ha程度。人口規模でみると5～10万人都市で平均的な人口密度は26人/ha。この平均を目指していきたいと考えている。</p> <p>総合評価の点数を抛りどころにして居住誘導区域を設定した。それに加えて住宅が張り付いている範囲や土地利用状況等を加味してエリアを設定した。登米市の現状に合ったエリア設定が不可欠という考え。コンパクト化の実現に向けて人口密度を維持していくためには市街地を絞った案2をベースに考えたい。</p>
議長（会長）	<p>居住誘導区域外でも開発はできるので誤解がないように。まちづくりにおいて、より高密度な市街地を維持していくためのエリア設定で絞り込んだ範囲とすることで公共交通にもメリハリができて住民サービス向上にもつながる。また、場合によっては今後の開発を踏まえた誘導も意識しないとならない。インターが新たにできることなども含め、まちづくりの考え方を整理した方が良い。</p>
事務局	<p>市街地再編に合わせて市有地を活用した公共施設の再編を考えており、用途地域を広げるということは想定していない。集約した市街地を公共交通で結んでという考え方でいきたい。</p>
副会長	<p>誘導区域内には既存の住宅があり、現在空き家が問題になっているが、今後、空き家が増え交通網もできてきて生活拠点が変われば区域が変わっていくことが考えられる。他計画を含め地域が向かう方向性、明確なビジョンなど一貫性を持ったまちづくりにしてもらいたい。総合計画で地域の方角性を打ち出し、そこへ向かうための立地適正化計画であるというようなゴールイメージを共有できるように。</p>
委員	<p>地域拠点のコミュニティについて方向性が分かると理解しやすい。</p>
委員	<p>全体像が見えない。区域設定において浸水区域はあるが地盤はどうか。</p>
議長（会長）	<p>地方都市のリニューアルはどうやるべきかは難しい。今の中心市街地は道が狭い、駐車場がないという制約があり活用しにくいことが多い。</p>

	<p>場所を特定して新たな開発をして移ってもらうことによってローリングしていく考えもある。その間に旧市街地の道路整備を行うことも可能だが、少なくとも50年はかかると思うので強いリーダーシップが必要。登米市の場合、どうするか打ち出せていないとミニ開発が行われ、市街地が広がってしまう。共通理解は必要である。</p>
委員	<p>議論はされるが、前に進まない。商店街は再開発しかないが、したところで来る人がいないという事もあるので難しい。</p>
議長（会長）	<p>貴重なご意見をいただいた。事務局で検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>その他としまして、今後の策定スケジュールになります。年度内に第4回の開催を予定しています。2～3月を目標に、防災指針の検討と誘導区域設定に伴う詳細検討を整理した中で、協議会をお願いしたいと考えている。当初予定では、年内におおよその案を決めて説明会を計画していたが、防災指針の検討等に時間を要する状況となっており、説明会については区域や防災指針が一定程度整理された後に開催し、ご意見を頂戴したいと考えている。</p>
委員	<p>立地適正化計画、PPP/PFIなど予算はどうなるのか。国の補助を受けながら、関連して進めていくことになるのか。</p>
事務局	<p>具体的な計画策定中であり、迫の中心市街地の再整備・活性化に伴う立地適正化計画に関わる部分の予算は、これからになる。PPP/PFI、官民連携/公民連携の関係は、地域拠点の維持ということで検討している。中心拠点においては、立地適正化計画の中で整理して、地域拠点の整理や公民連携等と調整を取りながら進めていくものと考えている。</p>
議長（会長）	<p>住民説明までに時間ができたので全体像を合わせて説明できるように準備してほしい。</p> <p>その他質問がありませんか。本日の議事は以上となります。ここからは事務局に進行をお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で本日予定いたしました議事はすべてご審議いただきました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、千葉副会長より、一言、ご挨拶をお</p>

副会長 事務局	願いたします。  【 閉会の挨拶：副会長 】  ありがとうございました。 以上をもちまして、「令和2年度第3回登米市立地適正化計画推進協議会」を閉会いたします。 ありがとうございました。  【 閉 会 】
------------	--